



かけ橋とは…

- 農地と担い手をつなぐ…
- 現場と農政をつなぐ…
- 消費者と農業者をつなぐ…
- 農地と農村をつなぐ…
- 次の世代と農業をつなぐ…

かけ橋

今年も「ほのか農園」はじめました



一般社団法人 五十沢キャンフ場
会長 西潟 錦一

我が家の脇に猫の額ほどの小さな畑がある。

同居していた義父が毎年丹念に野菜を育てていた場所だ。

私は野菜作りには全く興味が無かったため、義父の存命

中はほとんどそこに立ち入ることはなかった。ところが、義父が亡くなり、雑草の生い茂った荒地地を見た時、ふいに「こんな素人でも、なにかここで育てることができのでは？」と思い立ち、近所の方からトラクターで耕してもらい、野菜作りを始めたのだった。良い野菜を作ろうなどと思わず、美味しい物をなどの気負いもなく、とりあえず近所の人や、実家の母から手ほどきを受け、ナス、キュウリ、トマト、インゲン、ジャガイモ、ネギ、ニンニクなどを植えてみた。楽しかった。

種を撒くのも、苗を植えるのも、草取りでさえ楽しくて仕方がなかった。もちろん、売り物になるほど良い野菜などできないし、収穫量も極めて少ないが、食卓に上がった時の喜びはひとしおだった。

どうせ「でたらめ農法」なのだから、畑自体を面白くできないかと、花を植え、畝の間を縫うように木道をしつらえ、ソーラーガーデンライトを木道に沿って点々と置いて、遊歩道のごとく夜も畑の中を散歩できるようにした。夕涼みには持つてこいの場所となった。特に、埼玉に住む3歳の孫娘は、来るたびに大喜びで畑の遊歩道を飛び回った。その姿はデイズニールランドではしゃいでいた姿と同じに見えた。

孫娘の名前を取って「ほのか農園」と名付けた小さな畑も、開園3年目を迎えた。今年初めてトウモロコシの種を撒いてみた。

野菜が育つ様子を眺めながら、遠くに住む孫の成長を楽しみにしている今日この頃だが、「こんなはずじゃなかった」と義父は苦笑しているに違いない。



農地パトロールの様子 (上田地区)

南魚沼市農業委員会へのお問い合わせは

電話 025-773-6664 FAX 025-773-6710

E-mail nouchi@city.minamiuonuma.lg.jp までお願いします。



「昨今思うこと」

高野 稔（今町）



畔を歩く主の足音で稲は

育つと、その昔の祖父の講釈を思い出した。化成肥料などない水呑百姓であった。畔草と稲わらを積んだ堆肥の土は、つるつる、ぬるぬる、さんばくの裾を稲わらの紐で結び素足の感触は気持ちよかった。

あれから半世紀、今日の稲作農家の姿など想像もできなかった。今では兼業農家も機械は一式揃っている。土地改良も進み、栽培技術の普及も特段の進歩である。施策でもある法人化や組合組織、認定農業者などへの優遇措置、でもちよつと待てよ！
減反は廃止されたが毎年増える過剰米、ミニムムアクセス米、これっ
て一体どうなっているんだ？ 小さい島国の渡世回しはわからないでもないが、意気込んで飛びついた認定農業者もくたびれて、借りた田を返す人が年々増えているという。しか

し、何とか守りたいのは先祖伝来の土地である。後継者不足もささやかれてはいるが、その候補者はまだいくらでもないはずである。そんな時、この人たちのために死ぬ気で本気で働く政治家が現れることを願うとともに、異常気象による豪雨災害の洪水から守っている田んぼのことも忘れてはなるまい。

「農業の楽しみ」

石川正廣（八幡）



稲作を40年ほどやってい

ます。20年近く殺虫剤と殺菌剤は使っていません。

そのせいか、田んぼにはオタマジャクシやドジョウ、タニシ、ヤゴなどが大発生しています。自然との共生を思うと、中干しも軽くやっています。ヤゴがトンボになると、ツバメが待っていたように捕食します。また、ツバメは巢のヒナにトンボを運び餌になります。（我が家では2回ヒナがかえりました。）田んぼは、コメの生産だけでなく、たくさんの生命を育んでいます。農業の楽しみの一つに、自然との触れ合いがあります。
畑作は、自家用野菜を約30種類栽

培しています。栽培、収穫、そして食べることは、大きな楽しみです。農作物は太陽光を主食にして成長します。だから収穫の8割は天候によるものと思っています。残りの2割は、栽培技術や運、不運でしょうか。今年はずいぶん胡麻を作りました。黒、白、金胡麻を作り、自家製パンの中に入れていきます。それは、とても美味しいです。

冬になると、醸造です。麴菌を購入し麴を作ります。古い電気毛布を利用して培養器をつくり、48時間かけて製麴をします。できた麴から味噌と甘酒を作っています。自家製大豆、塩、自家製麴だけの極上味噌です。半年後が楽しみです。

「外谷の山」

阿部正富（吉里）



南魚沼の西山

に位置する通称「とやのやま」が私の生まれた故郷です。両親

はここで鉱泉宿を営みながら、小規模の農地を人手で耕してお米を作ってきました。戦後の目まぐるしい変化の中で、私はまだ幼いころに山を下り、現在も生活しているここから学校に通えるようになってくれました。

父は勤めをしながら山の田圃を今までどおり耕作する兼業農家として、生活を支えてくれました。

私が四十歳を過ぎた時に父が突然他界、それまでサラリーマンしかしたたことのない私は、米作りの知識があるわけでもなく、どうしたものかと悩んでいると、周りの方々が教えてくださり、何とか実りの秋を迎えることができたことが今も深く思い出されます。父から譲り受けた農地が縁で、山の農地の仲間に加えていただき、山の農地を守る活動を通じて、人への感謝、自然への感謝を学んだような気がします。

時の経過とともに管理の手が届かない農地が増え、これから先を話し合い、いざ土地改良の話になった矢先に、あの大災害が発生、国の力を借りて復旧を兼ねた土地改良で山の姿が蘇りました。

私は思い願います。昔から守り受け継がれてきたこの山の農地が変わることなく、受け継がれていくことを。私にできることは、その一助となるように、取り組んでいくことと
思っています。



農業委員および

農地利用最適化推進委員の改選について

令和2年7月19日をもって、現在の農業委員および最適化推進委員の任期が終了となり、改選となります。推薦および募集開始時期を含め、今後のタイムスケジュールをお知らせします。

農業委員の改選

一、農業委員の定数および選出方法

- (1) 定数 19名（うち利害関係を伴わない者1名）
- (2) 過半数（当市農業委員会は10名以上）が認定農業者であること
- (3) 推薦か一般募集による

二、推薦および募集期間

令和2年3月1日から3月31日まで（1ヶ月間）

三、周知の方法

令和2年3月1日発行の『市報みなみ魚沼』ならびに市のホームページに掲載。応募状況は市のホームページで公表。

四、農業委員の任命

農業委員候補者を評価委員会で審議し、その決定をもって市長に推薦。市長の選任と6月議会での同意となった農業委員は、令和2年7月の初回総会で、市長の任命を受けます。

農地利用最適化推進委員の改選

一、最適化推進委員の定数および選出方法

- (1) 定数 24名（当市農業委員会は12地区（旧町村単位）から各2名の選出）
- (2) 推薦か一般募集による

二、事前説明会の開催

令和元年11月下旬から12月中旬に、各地区で農家組合長会議を開催し、説明を行う予定です。

三、最適化推進委員の委嘱

各地区から推薦および応募された候補者を評価委員会では評価し内示を行い、令和2年7月の初回総会で農業委員会会長から委嘱を受けます。

女性農業者との交流会

市内の女性農業者を対象として交流会を行います。

- ・期 日 令和元年11月下旬
- ・会 場 上田の郷
- ・テーマ 「郷土料理でおもてなし」

期日や申込方法などの詳細は、10月15日号の市報でお知らせする予定です。

多くの女性農業者の方からのご参加をお待ちしております。

（内山裕子委員）



昨年の女性農業者との交流会の様子

お知らせ

◆第二回農地パトロール

農業委員会では、遊休農地の総点検と発生防止・解消、農地の違反転用発生防止などを目的に、今年も農地パトロールを実施しています。8月に行った地区別の第一回農地パトロール結果に基づき、二回目のパトロールも年内に実施する予定です。

※遊休農地とは：農地法で定められている用語で、現に耕作されておらず、今後も耕作の見込みはない農地、また、周辺地域の農地に比べて、利用の程度が著しく劣っていると認められる農地をいいます。

遊休農地は、毎年農地パトロールを通じて把握されます。把握後には所有者への意向調査などを行い、農地の有効活用に向けた措置が取られています。

次ページでは、市内の荒廃農地の状況を掲載しています。



農業者年金について

農業委員会事務局 貝瀬

農業委員会で4回目の秋を迎えようとしています。今年も一面黄金色の田園が広がる時期となりました。新しい時代、「令和」のお米はどのような味がするのでしょうか。

さて、農業委員会から農業者年金のご紹介です。農業者年金は確定拠出型の積立て式年金で、①年間60日以上農業に従事②20歳以上60歳未満③国民年金第1号被保険者の方なら誰でも加入することができます。また、条件が合えば国から保険料を最大5割補助してもらうことができます。さらに、支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となるので、節税効果もあります。(保険料は月額2万円から6万7千円で、千円単位で自由に変えることができますので、天候で収入が左右される農業にあった制度だと思えます。)

私が思う他の個人年金と異なる魅力は、終身年金で80歳までの保証付きであることです。毎年6月、受給者現況届の提出の時期には「個人年金の受け取りは終わってしまったが、農業者年金があつてありがたい」とおっしゃる方がいます。そんな言葉をお聞きして、将来を担う農業者の皆さんにもご紹介をさせていただき、地域の農業委員または農業委員会事務局までご連絡ください。

「全国農業新聞」 を読んでみませんか?

全国農業新聞は週に1回発行され、全国や地域の農業情勢、現場から必要とされる情報を的確にわかりやすく提供します。

- ◇購読申込先：南魚沼市農業委員会
- ◇発行日：月4回(毎週金曜日発行)
- ◇購読料：1ヶ月 700円(税込)
年間 8,400円(税込)



今なら、3ヶ月間、無料でお試し期間として購読できます。希望される方は農業委員会までお気軽にご連絡ください。

南魚沼市内の荒廃農地の現状

(平成31年3月31日現在)

再生利用が可能な荒廃農地 (㎡)							
				うち農用地区域内 (㎡)			
田	畑	樹園地	計	田	畑	樹園地	計
9,452 (10,555)	17,806 (22,756)	0 (0)	27,258 (33,311)	8,383 (9,486)	3,997 (9,442)	0 (0)	12,380 (18,928)

再生利用が困難な荒廃農地 (㎡)		非農地判断済み農地 (㎡)	
		うち農用地区域内 (㎡)	うち農用地区域内 (㎡)
132,695 (129,345)	83,481 (80,920)	53,614 (53,614)	0 (0)

カッコ内の数値は平成30年3月31日現在のもの

※荒廃農地とは…現に耕作されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能な農地

毎年、農地パトロールを通じ荒廃農地については、農地の所有者(耕作者)にご連絡することで、耕作が再開される農地がある一方で、再生利用が困難となる農地や新規荒廃農地も増えているのが現状です。

農業委員会の主な活動

- ・6月19日(水) 食育出前授業 (三用小学校)
- ・6月25日(火) 第6回農業委員会総会 (大和庁舎)
- ・6月27日(木) 食育出前授業 (北辰小学校)
- ・7月17日(水) 食育出前授業 (城内小学校)
- ・7月23日(火) 農業会議 地域別農業委員会研修会 「中上越地区」(上越市)
- ・7月25日(木) 第7回農業委員会総会 (大和庁舎)
- ・8月20日(土) 第一回農地パトロール (市内12地区)
- ・8月26日(月) 第8回農業委員会総会 (大和庁舎)

編集後記

もうすぐ爽りの秋を迎えます。田植えの時期は大変暑かったですが、今年のお米の出来具合はどうでしょうか。これから南魚沼市全体が、一年中で一番活気づく大好きな季節がやってきます。おいしいお米がたくさん収穫できますように願っています。(山田幸子委員)

訃報

山田幸子委員におかれましては、7月29日に急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。